

自然休養林情報

平成九年ヤクスギランド入場者数 七六、九〇三人、前年比九%増加

平成八年と九年のヤクスギランド入場者数を比較した結果、昨年とほぼ同様九%の増加が見られ、屋久島の代表的な自然探勝地及び観光コースとして定着しているものと思われれます。

平成九年のヤクスギランド入場者数は、前年より六一五五人多い七六、九〇三人でした。裏面に、月別入場者の推移をグラフで表してありますが、このグラフから次のことがわかります。

- ◇年間入場者が増加（九%）
- ◇三・八・十月に高い増加率
- ◇春期、夏期、秋の行楽シーズンが順調に伸びる。
- ◇秋期（十月・十一月）が、五月・夏期に負けず多い。
- ◇二・四・九月は減少しているものの、全体的に大幅な減少はない。



ヤクスギランド歩道状況

この結果から、木道・吊り橋等の施設整備が進み、入場者の増加と通年化につながり、屋久島の代表的な自然探勝地

ヤクスギランドの点検整備実施

ヤクスギランド内の遊歩道は四コースありますが、この内30分・50分コースは、木道・石張歩道等が整備され、仏蛇杉まで普通の履物でも行けます。80分・150分コースは、屋久島の原生林を容易に観賞することができる等、自然を生かした歩道となっており、運動靴か登山靴が必要です。

保全センターでは、安全で快適な散策が出来る自然休養林とするため、看板類の清掃と遊歩道の補修等を行うとともに、各種施設の点検と整備を3月中に実施する予定です。



今、ランド内では、屋久島の固有種であるオオゴカヨウオウレンの可憐な花を足元に見る事が出来ます。

保全センターでは、森林総合研究所九州支所と共同で、水質の分析を行っています。これまでの水質分析については、洋上アルプス三三三号に掲載したところですが、今回、林外雨の四箇所と溪流水の三箇所について、pHデータの集計ができましたので、裏面にグラフで掲載します。

林外雨は冬季にpH値が低くなることや、宮之浦及び白谷線沿いでpH値が低いこと、標高の低い林友寮から白谷、小杉谷、淀川と標高が高くなるにつれてpH値があがっていくこと等が見られます。また、溪流水は林外雨に比べて全体的に上下動が少なくpH値も高くなっています。

屋久島の酸性雨 高標高に高い値

水質調査中間報告第三弾

今回、紀元スギ、弥生スギには編柵工と土壌改良を行い、仏陀スギについては南側土壌の排水が悪いため編柵工、土壌改良に加えて排水工も実施する事にしています。工事は、三月十日～三月二十五日までとなっております。ご迷惑をかけるかもしれませんが、ご協力をお願いします。



◆樹勢回復措置工実施◆
昨年度実施した大王スギ、翁スギに続いて、樹勢の回復・維持を図るため、今回紀元スギ、仏陀スギ、弥生スギの三本について、樹木医による樹勢診断に基づき、樹勢回復措置工を実施します。

屋久島の植物



イヌガシ (くすのき科)

関東南部以西に分布し、暖帯林に生える常緑高木。樹皮はニッケイに似ている。花期は三～四月であるが、ランド・雲水峡では二月中旬に暗紅紫色の花を咲かせていた。イヌガシは春に咲き紅色、紫黒色の果実を秋に熟すのに対し、間違い易いシロダモは秋に咲き黄色、果実は翌年秋に紅熟するので判別できる。

エルニーニョの影響?

今年に入ってぐずついた天気が続

き、降水量も多いように感じます。そこで、保全センターに設置している雨量計

	1月	2月	計
H 8	168.0	184.5	352.5
H 9	179.5	205.0	384.5
H 10	500.5	466.0	966.5

八年度年報が完成

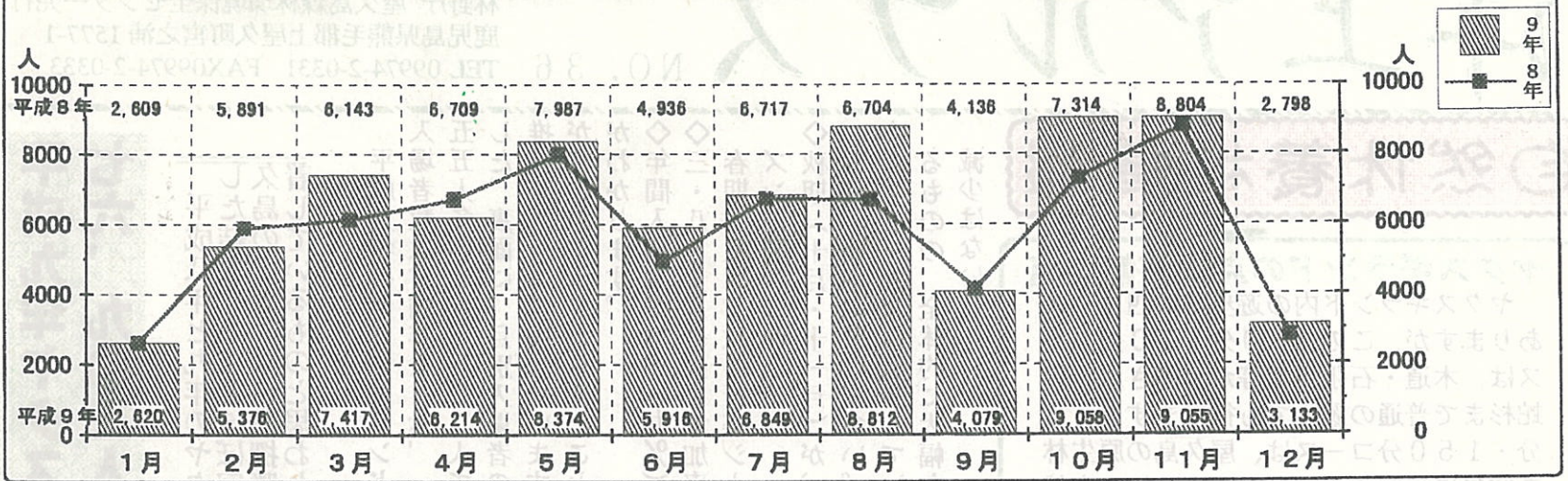
この程、平成八年度屋久島森林環境保全センター年報が完成したのでお知らせします。

この年報は、一年間の活動状況等を判り易く紹介しており、島内外の研究者や関係機関及び特に希望される方々へ配布する予定です。

白谷雲水峡 利用可能

通行止めとなっていた県道白谷雲水峡宮之浦線が、三月三日から条件付きで通行可能となり、白谷雲水峡も利用できるようになりました。

平成8・9年ヤクスギランド入場者数の推移



屋久島の林外雨・溪流水pHデータ一覧

林外雨 pH データ

溪流水 pH データ

